

肥料価格高騰対策事業支援金申込書  
(参加農業者→取組実施者)

令和4年秋肥  
 令和5年春肥  
(該当するものに✓)

氏名 **岩手 太郎**  
住所 〇〇市〇〇 丁目番地  
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

1 支援予定金額

(1) 本事業における支援予定額 **⑤** : 支援額が算出されます。 **④** : ③の金額が反映されます。  
支援予定額 **★ ⑤ 21,666 円** = 肥料コスト増加分 : **(A) ④ 30,952.4 円** × 0.7

**①** : このセルに当年の肥料費を入力します。

肥料コスト増加分 (A) =  $\frac{\text{当年の肥料購入費}}{\text{価格上昇率}} - \left( \frac{\text{当年の肥料購入費}}{\text{価格上昇率}} \div 0.9 \right)$   
**③ 30,952.4** =  $\frac{150,000 \text{ 円}}{\text{② 150,000 円}} - \left( \frac{150,000 \text{ 円}}{\text{② 150,000 円}} \div 0.9 \right)$

**③**肥料コスト増加分が計算されます。

※価格上昇率：当年と前年の農作物価統計から算出。

※0.9：使用量低減率 **②** : 当年の肥料費に該当するセルが自動入力されます。

**(イ)** : 調整額が自動計算されます。

(2) 市町村補助金による調整額 (肥料の上昇分の3割を超えて補助されている場合)

調整額 **☆ (イ) 0 円** (①または②のいずれかの額)

①標準の調整額による算出

市町村補助金額 - { ( 当年の肥料費 - 当年の肥料費 ÷ 価格上昇率 ÷ 0.9 ) × 0.3 }  
調整額 = **☆ (ア) 7,500 円** - { ( **② 150,000 円** - **② 150,000 円** ÷ 価格上昇率 ÷ 0.9 ) × 0.3 }  
-1,785 (ア) : このセルに市町村補助金額を入力します (調整額が負の数の場合の調整額は0)

②その他の算出による調整額 = **☆** 円

※支援予定金額 **21,666 円** = (1) 本事業における支援予定額 **★⑥ 21,666 円** - (2) 市町村補助金調整額 **☆ (ウ) 0 円**  
**⑥** : ⑤から反映されます。 **(ウ)** : (イ) から反映されます

2 添付資料

- (1) 化学肥料低減計画書 (業務方法書様式第2号)
- (2) 肥料を発注したことを証明する書類 (注文票等) と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類 (領収書等) または支払い義務が生じていることを示す書類 (請求書等)
- (3) 農産物の販売実績 (自給飼料を生産する畜産農家は畜産物の販売実績) を証明する書類
- (4) 農業者自己確認シート (業務方法書様式C)
- (5) 肥料高騰に係る市町村補助金を受給している場合、その受給を示す書類 (交付決定通知の写しなど)

(記載例)

岩手県肥料コスト低減推進協議会

## 化学肥料低減計画書

作付概要	
作物名	作付面積 (ha)
水稻	5.0
トマト	0.3
こまつな	0.1
計	5.4

注: 該当欄に○

秋用肥料	春用肥料	年間
	○	

氏名(法人・組織名) ○○ ○○  
 住所 盛岡市内丸10-1-5  
 電話番号 019-629-5656

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組	取組内容の説明(新しい取組、従来の取組の強化・拡充の場合、その内容)
ア 土壌診断による施肥設計	○	◎	トマトのみを行っていたが、水稻も実施する
イ 生育診断による施肥設計			
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入			
エ 堆肥の利用			
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)			
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)			
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用			
ク 緑肥作物の利用			
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用			
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		○	水稻で肥料銘柄を変更(N15-P15-K15→N15-P8-K8)
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)			
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用			
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用			
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)			
ソ 地域特認技術の利用( )			

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。  
 ※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署)

○○ ○○

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。  
 なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

## ② 農業者自己確認シート（業務方法書様式C）

**【記載例】**

業務方法書 様式C

※委託業者確認事項

### 農業者自己確認シート

#### 1 申請の要件について

- 農産物の販売実績（自給飼料を生産する畜産農家は畜産物の販売実績）がありますか。
- 申請する肥料費は、自らの農業生産に使用する肥料ですか。
- 肥料の購入時期は、①秋用肥料（令和4年6月～令和4年10月購入分）、または②春用肥料（令和4年11月～令和5年5月購入分）ですか。

#### 2 申請書類（化学肥料低減計画書）について

- 氏名や住所等に誤りがないか確認しましたか。
- 作付概要に誤りがないか確認しましたか。
- 実施する取組メニューを確認しましたか。
- 実施する取組メニューは、取組を実施したことを書類等で確認できますか。  
（土壌診断の診断結果、施肥設計書、購入肥料の伝票、作業時の写真等）

#### 3 肥料費について

- 当年の肥料費は、（ 1,000,000 ）円で、伝票等証拠書類と一致していますか。  
※肥料費は消費税込み価格を記載してください ※領収書、請求書等の  
根拠書類と照合して  
確認
- 肥料を発注したことを証明する書類（注文票等）は添付していますか。
- 肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）または支払い義務が生じていることを示す書類（請求書等）は添付していますか。

#### 4 その他

- 支援金の申請先が複数ありますか。【提出先】① 〇〇商店、② \_\_\_\_\_、  
※申請が重複していないか確認 ③ \_\_\_\_\_、④ \_\_\_\_\_  
（別に申請した「〇〇商店」で購入した肥料が混ざって申請されていないか等）
- 当年における肥料コスト上昇に対して、市町村から支援金が交付されている場合、調整額を控除していますか。 →  該当する支援金なし  
↑ 該当する支援金がない場合はこちらにチェック

■以上の項目について、確認したら署名してください。

氏名（自署） 岩手 太郎